

地域再生計画 事後評価

「手をつなぎ、明日をひらく元気都市」再生プラン

[道整備推進交付金事業最終報告]

平成29年9月

四国中央市 建設部 建設課



地域再生計画法に基づく地域再生計画の事後評価

「手をつなぎ、明日をひらく元気都市」再生プラン	
作成主体	愛媛県、四国中央市
計画区域	四国中央市全域
支援措置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)
設定日等	平成22年3月23日
計画主旨	<p>四国中央市は四国の高速道路網の中心に位置し、四国最大規模の国際貿易港が立地している等、交通の要衝であるとともに全国屈指の製紙・紙工業があり、産業・物流機能が集積した地域である。また、北部には海岸線、南部には山間部が東西に広がり、豊かな海・山の自然を有する地域でもある。一方で、産業・物流機能の集積に伴い、道路環境の悪化や周辺住民への環境負荷の増大、通過交通による沿道住民の安全性低下が懸念されており、また、山間部では林業の後継者不足が進み、林業の作業効率向上が課題となっている。そのため、道整備交付金により、これらの課題に応じた道路・林道整備事業を一体的に行い、交流人口の増加を図り、人・物・環境、それを支える地域交流や各ゾーンの一体化を目指し、新しい明日を切り開いていく元気溢れる協働都市づくりを推進する。</p>

地域再生計画全体イメージ

● 四国中央市の地域特性

- 四国の中央に位置し、四国で唯一4県が接する地域
- 長い海岸線、急峻な法皇山など豊かな自然環境
- 全国屈指の製紙・紙加工業の工業地帯を形成
- 四国エクスハイウェイのクロスポイント
- 四国最大規模の国際貿易港四国ロジサイト

● 地域再生計画に向けた課題

- 市域の各ゾーンが抱える課題の解消
 - 産業物流ゾーン
物流機能の向上及び、環境負荷の軽減
 - 市街地ゾーン
地域住民の安全性・快適性向上を図るための道路環境改善
 - 自然海浜ゾーン・山間交流ゾーン
地場産業の一つである林業の振興及び、森林観光資源の保全
- 各ゾーンの一体性及び連携の強化
- 人・物・環境、それを支える地域交流の推進

● 地域再生の目標

- 産業交通の快適性向上
臨海部を中心とした産業道路の快適性向上を図ることにより、効率的な物流を促進し、周辺地域への環境負荷を軽減する。
- 生活道路の安全性向上
日常生活に密着した生活道路において、必要緊急度に応じて整備を行うことで、道路利用者の安全性を確保し、利便性向上を図る。
- 森林施業の推進及び、森林の公益機能の向上
地場産業である林業を支える林道の整備により、林内作業や輸送の効率化を図り、林業の振興や活発な山間交流を促進する。



地域の課題

- 基幹産業のコントロール (産業クラスターの形成促進)
- 自然資源の活用(多自然定住都市づくり)
- 環境対策(自然共生型の地域環境創出)

関連事業

- 環境共生都市整備の推進
 - ・ 地域環境の保全
 - ・ 計画的な土地利用
 - ・ 循環型社会の構築
- 高度な産業構造の創出
 - ・ 産業の集積
 - ・ 既存産業の高度化
 - ・ 高次産業群の形成
- 交流拠点都市基盤の構築
 - ・ 地域内道路の整備拡充
 - ・ 市民活動・交流事業の拠点
 - ・ 公園等余暇基盤の整備

事業内容

産業交通の 快適性向上

事業:舗装

対象 路線

- ・市道 港通井地線 (H22 ~ H26)
- ・市道 国道海岸線 (H22 ~ H26)
- ・市道 金子豊岡海岸線 (H22 ~ H26)
- ・市道 豊岡寒川海岸線 (H22 ~ H26)

生活道路の 安全性向上

事業:舗装

対象 路線

- ・市道 小富士長津線 (H22 ~ H26)
- ・市道 北野土居線 (H22)

事業:道路拡幅、視距・線形改良

対象 路線

- ・市道 青山長瀬線 (H22 ~ H24)
- ・市道 大倉東線 (H22 ~ H28)

評価指標による目標達成度評価

計画に掲げた各目標の評価指標及び目標値を設定。施策実施後、以下評価指標を算出し、各目標の達成度を評価。

目標の達成状況

目標	事業内容	評価指標	整備前	目標値	整備後	
産業交通 快適性向上	舗装	走行時 不快指数	91.8 (H22)	60 (H26)	47.2 (H26)	49%減
生活道路の 安全性向上	舗装 道路拡幅 線形改良 視距改良 法面保護	事故危険箇所 の改善	4箇所 (H22)	0箇所 (H28)	0箇所 (H28)	4箇所 減

目標 1 産業交通の快適性向上

臨海部を中心とした産業道路の快適性向上を図ることにより、効率的な物流を促進し、周辺地域への環境負荷を軽減する。

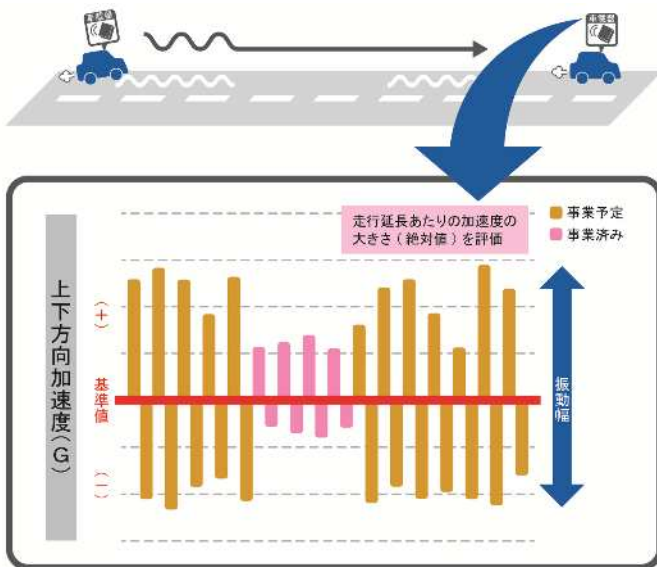
対象路線 市道港通井地線、市道国道海岸線、市道金子豊岡海岸線、市道豊岡寒川海岸線

事業内容 舗装

評価指標 走行時不快指数：91.8（平成22年） 目標値60.0（平成26年）
 走行時不快指数：自動車走行時の上下方向加速度（G）= 振動幅を延長あたりに換算した値。
 目標値は舗装済みの値をもとに設定。

不快指数計測イメージ

不快指数 = 走行延長あたり上下加速度合計値



舗装により不快指数が減少

移動時の安全性・快適性が向上するとともに
 輸送時の荷痛みが軽減

上下加速度計測車載器



対象路線

: 写真箇所番号



市道港通井地線

沿道には、製紙・紙加工業等の事業所が立地しており、舗装により、事業所までの移動時の車両の振動が減少し、走行時の安全性・快適性が向上
 車両の振動減少により、物流車両の荷痛みが軽減するとともに走行時の騒音が低減

事業内容: 舗装

整備前 写真箇所



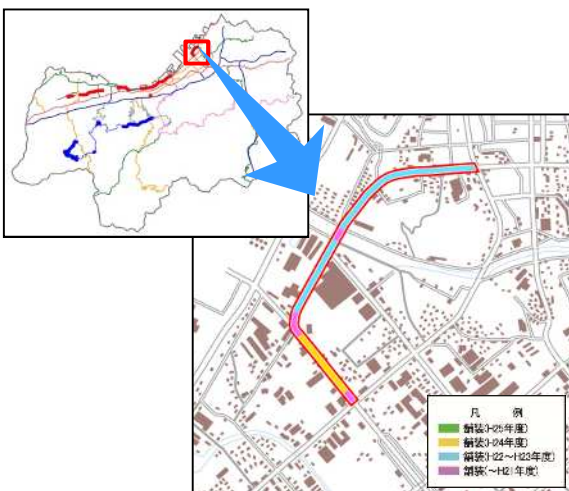
整備後 写真箇所



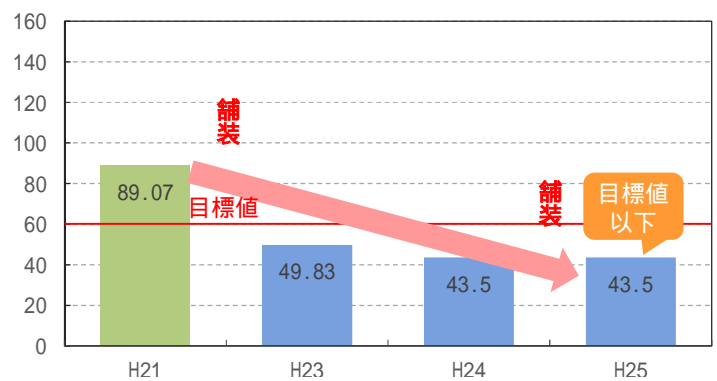
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】



市道国道海岸線

沿道には、事業所や三島医療センター等が立地しており、舗装により、事業所や医療機関等までの移動時の車両の振動が減少し、走行時の安全性・快適性が向上
 車両の振動減少により、物流車両の荷痛みが軽減するとともに走行時の騒音が低減

事業内容：舗装

整備前 写真箇所



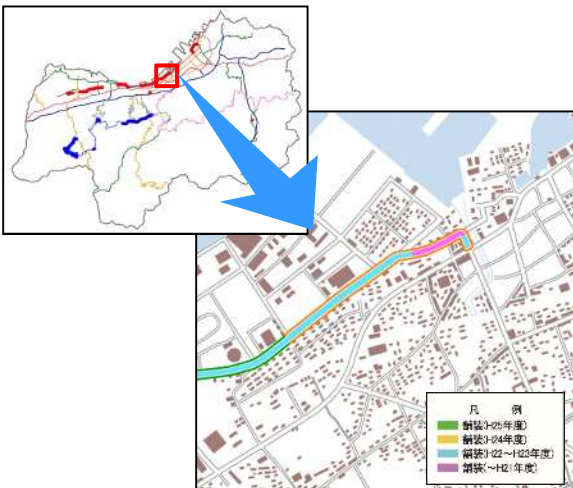
整備後 写真箇所



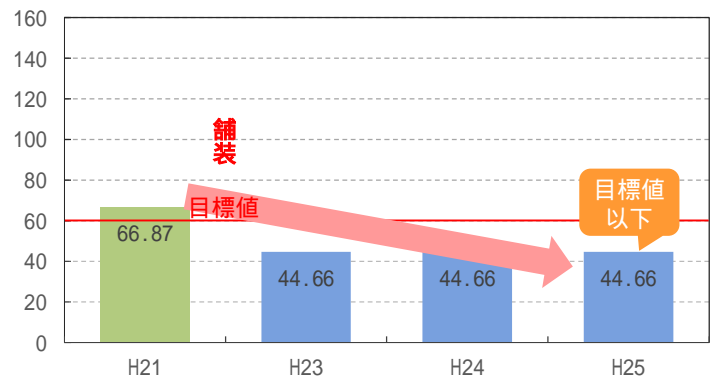
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】



市道金子豊岡海岸線

沿道には、製紙・紙加工業や物流等の事業所等が立地しており、舗装により、事業所までの移動時の車両の振動が減少し、走行時の安全性・快適性が向上
 車両の振動減少により、物流車両の荷痛みが軽減するとともに走行時の騒音が低減

事業内容: 舗装

整備前 写真箇所



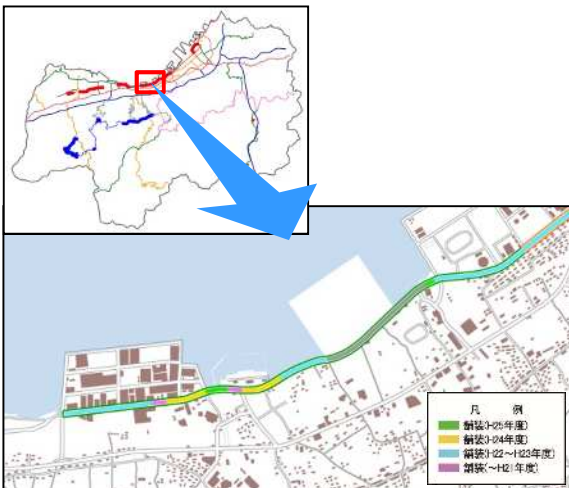
整備後 写真箇所



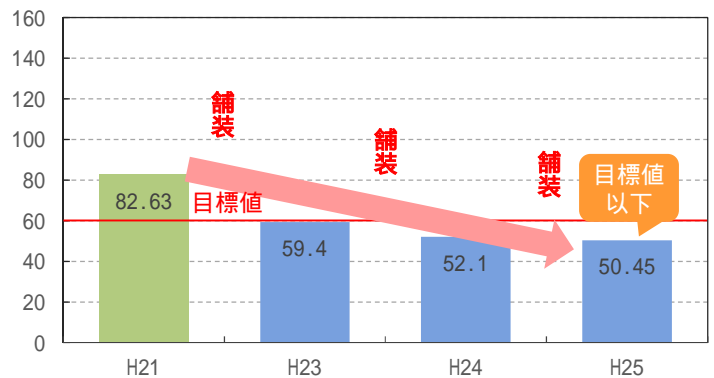
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】



市道豊岡寒川海岸線

沿道には、製紙・紙加工業等の事業所が立地しており、舗装により、事業所までの移動時の車両の振動が軽減され、走行時の安全性・快適性が向上
 車両の振動減少により、物流車両の荷痛みが軽減するとともに走行時の騒音が低減

事業内容: 舗装

整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



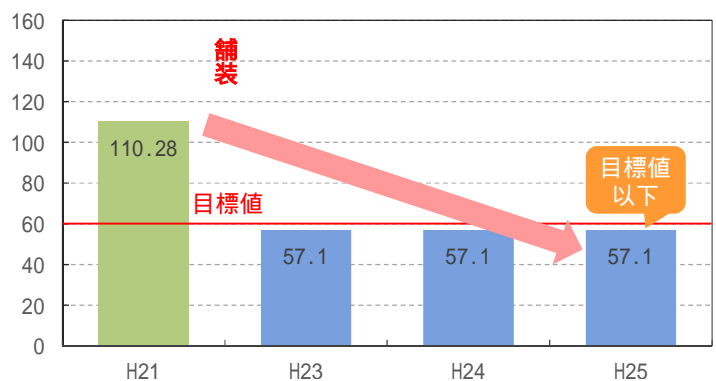
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】



目標 2 生活道路の安全性向上

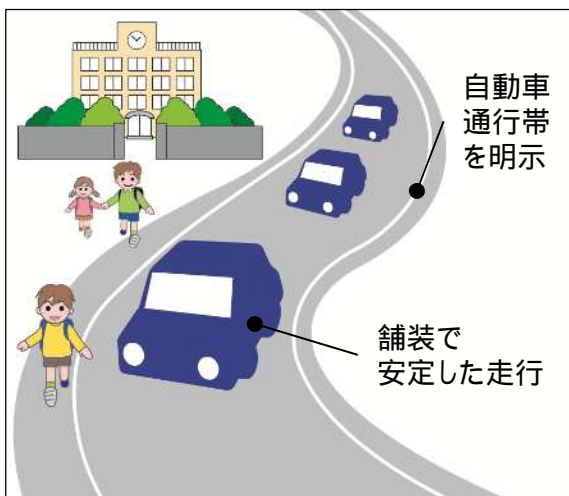
日常生活に密着した生活道路において、必要緊急度に応じて整備を行うことで、道路利用者の安全性を確保し、利便性向上を図る。特に通学通行量の多い路線の補修、幅員狭小、線形不良などの改良により、事故誘発要因を改善する。

対象路線 市道小富士長津線、市道北野土居線、市道青山長瀬線、市道大倉東線

事業内容 舗装、道路拡幅、線形改良、視距改良、法面保護

評価指標 事故危険箇所：4箇所（平成22年） 目標値 0箇所（平成28年）[4箇所減]

舗装による事業効果イメージ



舗装により車両・歩行者の安全性が向上

拡幅・線形改良・法面保護等による事業効果イメージ



幅員狭小区間の拡幅や落石危険箇所での法面保護により道路利用者の安全性を確保

対象路線

: 写真箇所番号



市道小富士長津線

沿道は住宅街となっており、舗装により沿道宅地への移動時の車両振動が減少し、走行時の安全性・快適性が向上
 当該道路は通学路として利用されており、舗装による自動車走行の安全性向上とともに歩行者の安全性が向上
 車両の振動減少により、車両の走行時の騒音が低減

事業内容: 舗装

整備前 写真箇所



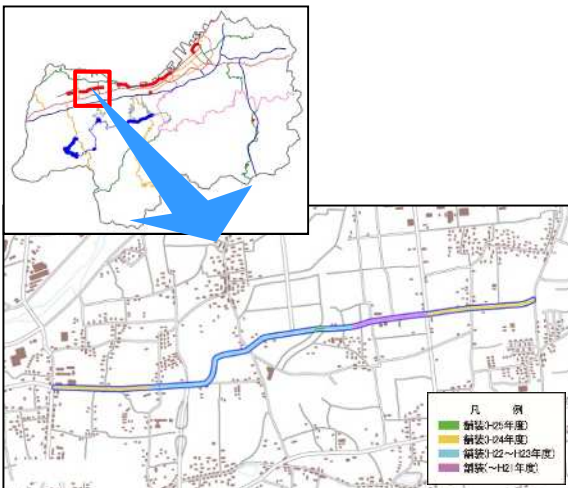
整備後 写真箇所



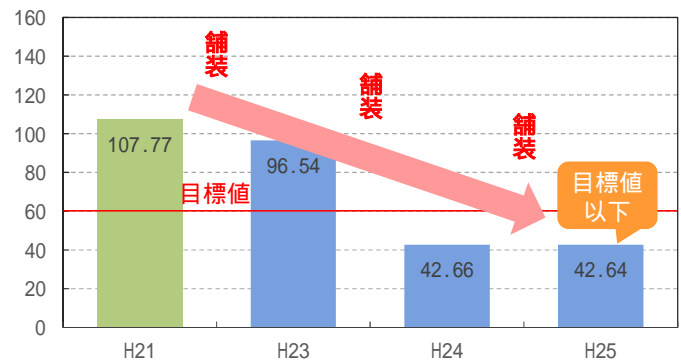
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】



市道北野土居線

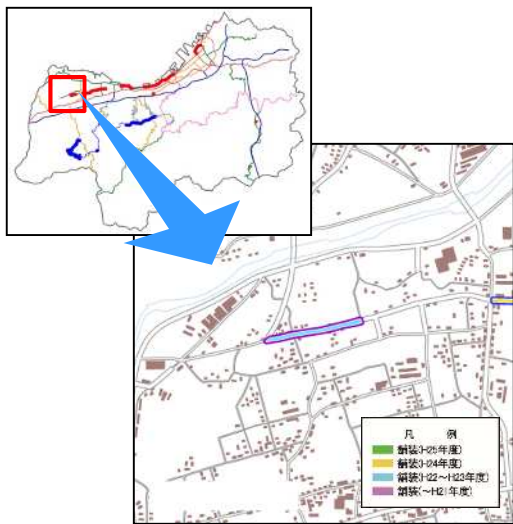
沿道は住宅街となっており、沿道宅地までの移動時の車両振動が減少し、
 走行時の安全性・快適性が向上
 当該道路は通学路として利用されており、舗装による自動車走行の安全性向上とともに
 歩行者の安全性が向上
 車両の振動減少により、車両の走行時の騒音が低減

事業内容: 舗装

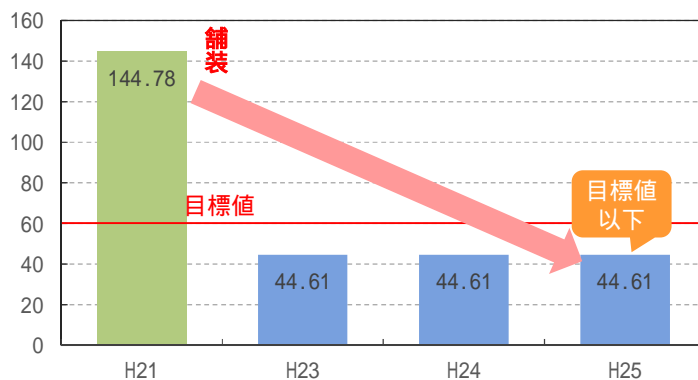
整備前 写真箇所



整備後 写真箇所



【走行時不快指数の推移】

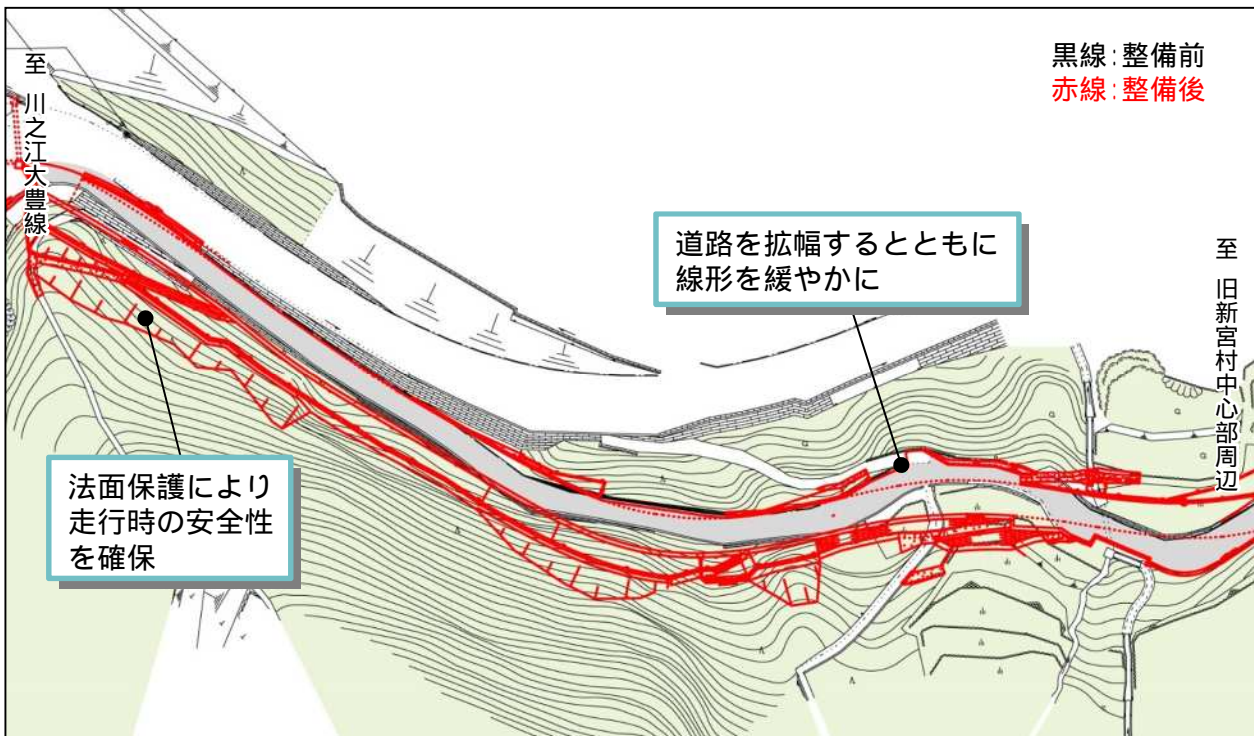


市道青山長瀬線

道路拡幅、線形改良、法面保護により、走行時の安全性や円滑な移動が確保されることで
利便性が向上するとともに旧新宮村中心部の周辺集落と主要幹線道路（川之江大豊線）
とのアクセス性が向上

事業内容：道路拡幅、線形改良、法面保護

事業概要図



整備前 写真箇所



整備後 写真箇所

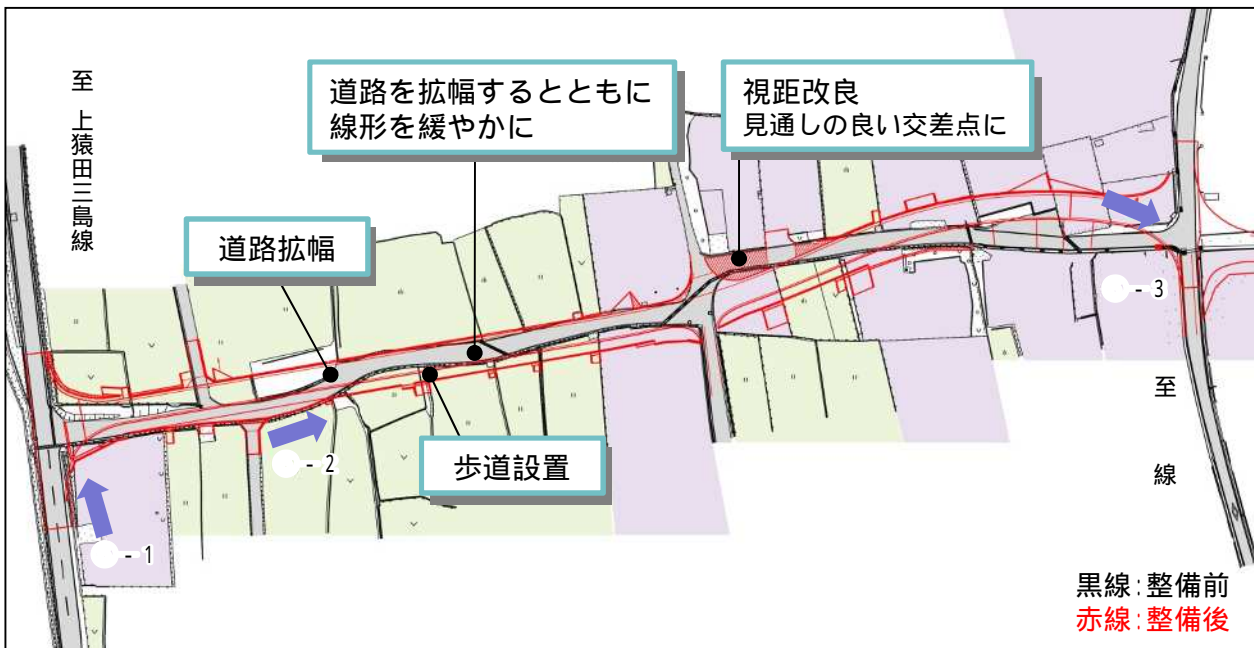


市道大倉東線

道路拡幅、線形改良、視距改良により、走行時の安全性や快適性が向上するとともに住宅密集地から県道までの移動が円滑になり、ネットワーク機能が強化

事業内容: 道路拡幅、線形改良、視距改良

事業概要図



整備前 写真箇所 - 1



整備後 写真箇所 - 1



市道大倉東線

整備前 写真箇所 - 2



整備後 写真箇所 - 2



整備前 写真箇所 - 3



整備後 写真箇所 - 3

